

## 1 速読 「古今著聞集」

## 解答・解説

## 解答・解説

問1 傍線部内の重要古語は次のとおり。

「あながちに」…①むやみに。②無理に。  
「愛づ」…①愛する。②ほめる。③好む。④感動する。

本文中では「朝夕あながちに」酒を求めていることから、「あながちに」は①の「むやみに」という意味で使われている。また、「愛づ」は父が「酒を愛でほしがりければ」とあるので、③のように父が酒を好んで求めているという意味で使われている。

## ▶選択肢判定チェック▶

- ア 年老いた父が朝から晩までずっと酒を好んで飲み続けているので、  
「むやみやたらに好きな飲みたいの訳がすべて正しい。」(○)  
主語は男ではなく父。(×)
- イ 年老いた父が一日中むやみやたらに好きな酒を飲みたいと言うので、  
「男は探し回っていない。」(×)  
男は探し回っているが「飲み続けている」とは、本文中にない。(×)
- ウ 美濃国に住む男が酒好きの父のために毎日酒を探し回ったところ、  
「男はやめさせようとしていない。」(×)  
男はやめさせようとしていない。(×)
- エ 美濃国に住む男が頻繁に酒を求めている父に酒をやめさせるために、

よって、正解はイ。

問2 本文の内容に関する問題なので、全体の流れを追う。

- ①「美濃国に…養ひけり」——美濃国に住む男が山の草木を採って、その代価で父を養っていた。
- ②「この父、…父を養ふ」——この父が毎日酒を欲しがったので、その酒を買ってあげていた。
- ③「ある時山…き酒なり」——ある時に山で薪を採ろうとして足を滑らせ転んだところ、酒の香りがしたので周りをよく見ると、石の中から酒が流れている場所を発見した。

## ▶選択肢判定チェック▶

- ア 貧しくとも生活を支えてくれる息子に対して、父が恩返しをした。(×)  
「父が恩返しをした」とは、本文中にない。(×)
- イ 酒なしでは生きていけない父に対して、息子が酒をやめさせようとした。(×)  
「酒をやめさせよう」としてはいない。(×)
- ウ 父に対して孝行するために毎日酒を用意してきたが、そんなときに偶然酒の湧き出る場所を発見した。(○)  
孝行な息子が、父のために毎日酒を用意してきたが、そんなときに偶然酒の湧き出る場所を発見した。(○)
- エ 父に酒を飲ませるために息子が酒の湧き出ると言われる場所を探して旅に出た。(×)  
意図的に酒の湧き出る場所を探したのではない。(×)

よって、正解はウ。

## 古文の世界

## 説話集

「説話集」とは、昔話や伝説、世間話などの口承文芸（口伝えに伝わり、普及した文芸）を集めたものを指す。口承文芸は、作者が個人的な思想を展開するといふことよりも、大衆になりかわって話を物語るという性格が強いと言われている。そのため、その時代の大衆の考え方や好み、風俗、信仰などがそのままの形で生き生きと描かれている。なかでも、仏教的内容が書かれているものを「仏教説話」、貴族・武士・庶民の実生活が書かれているものを「世俗説話」と言う。

説話集は話の展開が明確なものが多く、登場人物の関係と場面の展開に注意して読むとよい。

## 出典 古今著聞集

季 鎌倉時代中期の説話集。前代の日記、記録、説話集などをもとに、平安中期から鎌倉初期の日本の説話約七二〇話を、神祇、政道、文学、和歌など三〇編に分類し、年代順に収めたもの。

1 復習 「古今著聞集」

解答・解説

文法 Q 省略 Q 解答と品詞分解・現代語訳

美濃国に貧しく賤しき男ありけり。老いたる父をもちたりけるを、この男、山美濃の国（現在の岐阜県）に貧しく身分の低い男がいた。年老いた父を持っていたが、この男は、

動詞 ヤ行 上二段 活用 連用 形

動詞 ア行 下二段 活用 連用 形

の本草を採りて、その価をえて父を養ひけり。この父、朝夕あながちに酒を愛で（それを売って）その代価を得て父を養っていた。この父が、朝も夜もむやみやたらに酒を好んで

ほしがりければ、なりひさごといふ物を腰につけて、酒売る家にのぞみて、常に（男）は ひょうたんという物を腰につけて、酒を売る店に行つて、

これをこひて父を養ふ。ある時山に入りて薪を採らんとするに、苔深き石にすべこれ（酒）を求めて父を養っていた。ある時（男）が 山に入って薪を採ろうとすると、苔が深い石で滑つて、

りて、うつぶしにまろびたりけるに、酒の香のしければ、思はずにあやしくて、思いがけないことに不思議に思い、

そのあたりを見るに、石の中より水流れ出づる所あり。その色酒に似たりければ、その（水）色が酒に似ていたので、

動詞 マ行 下二段 活用 連体 形

汲みてなむるに、めでたき酒なり。すばらしく上質な酒だった。

男が

男が

動詞 ダ行 下二段 活用 連体 形

動詞 ナ行 上二段 活用 連用 形

単語 Q 解答

- ア 身分が低い。
- イ むやみだ。
- ウ 望み求める。
- エ 不思議だ。